

ささりんどう

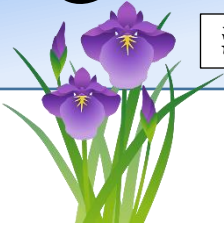
児童数
男子 157名
女子 161名
合計 318名

学校教育目標
感動し 共に喜びあえる
児童の育成



校章の笹竜胆（ささりんどう）は、箕田源氏の旗印です

鴻巣市立箕田小学校 学校だより No2 令和2年 5月 7日



今できることを・・・

校長 齋地 満

新緑が美しくさわやかな風が心地よい季節となりました。校庭を見渡すと、子どもたちが楽しく元気に遊ぶ姿が目に見えます。学校が再開したときに、子どもたちがひまわりと背比べをしたり、ラベンダーの香りを楽しんだりすることができるよう、花壇に植えたいと思います。

さて、本日、延期となっていた入学式が行われ、1年生の元気な姿に出会うことができました。式辞では子どもたちに、あいさつをして友達を増やすこと、できることを増やすことをお願いしました。あいさつは、人と繋がる最も基本的で大事なものです。「おはよう・おやすみなさい」は、生活のリズムを整え、「いただきます・ごちそうさま」は、けじめをつけます。また、「ありがとう・ごめんなさい」は、相手を思いやる心が育ちます。ご家庭でも心を通わせるあいさつをお願いします。

5日のこどもの日に建築家の安藤忠雄さんのメッセージが朝日新聞に掲載されていました。大人としても胸にくるものがあったので紹介します。今、頑張っている人々に思いをはせ、子どもたちの未来のために、できることをしなければならないのです。改めて、今できること、今だからできることを考えたいと感じました。（新聞の隣ページには、ドラえもんから「のび太になろう。」というメッセージが掲載されていました。）

学校の休校が今月末までの延長となり、今日と明日にかけ、課題について連絡することになり、お手数をおかけいたします。学校としても県や市の対応を踏まえながら、新しい試みを模索しております。できることから体制を整え、実施していきたいと考えています。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

あしたを待たされている君たちへ。

学校に行きたい、友達に会いたい。
運動したい。学びたい。いつか社会にも出たい。
あしたへの夢をたくさんもつみたちが、
いま、あしたへ向かうのを待たされている。

だけど、きみたちのきょうのガマンを
あしたの希望へとつなげるため、
困難な中で決死の覚悟でがんばる人々がいる。
こんなときにこそ、共に生きる大切さを感じてほしい。

ほくら大人たちも本気で考えたい。
これからのきみたちのための、新しい世界を。
ほくは建築家として好きな仕事をやってこられた。
きみたちの可能性が奪われていいはずがない。
こんなふうに生きたいと思いつづけよう。
どんな大変な状況でも、あしたはきっとくる。

（令和2年5月5日 朝日新聞 全面広告に掲載）

～ お知らせ ～

本年度のバスケットボール大会（6年）、林間学校（5年）、なかよし交歓会・合同体験学習（りんどう学級）、県及び市の硬筆展、市内音楽会は中止となりました。